

見学・啓発設備について

1. はじめに

本資料は、新ごみ処理施設に導入を計画している、見学・啓発設備の必要性、啓発内容について検討を行うものである。

啓発の目的は、住民への啓発活動を通じて、ごみの排出抑制、リユース、リサイクルについての意識の高揚と具体的な取り組みを促進することにある。また、啓発効果については、ごみ減量やリサイクル推進への直接的な寄与とともに、啓発活動の拠点としての間接的な寄与や住民満足度の向上が挙げられる。

施設整備方針や現有施設の状況を加味し、新ごみ処理導入が必要な啓発機能について整理した。

2. 施設整備基本方針（案）の確認

施設整備基本方針（案）では、基本方針3において見学・啓発設備に関連する内容を位置付けている。

基本方針3：環境を学ぶことができ、次世代へつなげる施設

- ・ 環境学習をとおして、良好な自然環境を次世代へ継承する施設。
- ・ みんなで創る資源循環型社会の実現に貢献する施設。

図1 施設整備基本方針（案）

3. 考えられる啓発設備について

整備基本方針（案）を基に導入が考えられる啓発機能について整理した。

基本方針		具体的な対応	考えられる啓発機能
環境を学ぶことができ、次世代へつなげる施設	環境学習をとおして、良好な自然環境を次世代へ継承する施設	幅広い世代が地域の環境問題と取り組みを学べる場	啓発用展示・オブジェ クイズ・ゲーム 体験学習室 資料コーナー
	みんなで創る資源循環型社会の実現に貢献する施設	地域の環境活動等の場	会議室・研修室 コミュニティスペース

図2 導入が考えられる啓発機能

4. 大牟田市と荒尾市における環境教育の状況

大牟田市と荒尾市における環境教育の状況について整理した。

- 大牟田市及び荒尾市では、市内小学校4年生を対象に、ごみ処理の流れとごみの減量に重要な「3R（リデュース、リユース、リサイクル）」に関する環境学習を行っている。
- 大牟田市エコサックセンターでは、大牟田エコタウン4施設（大牟田市エコサックセンター、大牟田市リサイクルプラザ、大牟田・荒尾RDFセンター、大牟田リサイクル発電所[※]）の見学を一括して受け付けている。各施設に設けられた見学啓発設備に環境やリサイクルについて学習する機能が備えられており、子どもから高齢者まで多くの市民が利用する環境学習の場として定着している。
※ 現在はリサイクル発電所の見学は中止されている。
- 大牟田エコサックセンターは、環境に関しての学習やリサイクルなどのエコに関する活動を実践する「市民交流・学習センター」と、大牟田市の企業のサポートを目的とした「産業支援センター」が一体となった施設である。「ごみを出さない暮らし」をテーマにした展示ホール、「出たごみをどうする」をテーマにした体験型学習施設、家庭内の不用品を活かす再生工房などが設けられている。

表 1 現有施設における見学対応状況

施設名称	内容	受入可能人数	見学時間
大牟田エコサックセンター	自由見学（案内なし）の場合は予約不要	32名程度まで	約60分
大牟田市リサイクルプラザ	(1)大型ごみ、不燃ごみから金属（破碎鉄、破碎アルミ）などの回収 (2)空き缶、空きビン、ペットボトル・白色トレイなどの選別、保管	5~24名	約40分
大牟田・荒尾RDFセンター	ごみ固形燃料化（RDF）施設	5~24名	約50分
大牟田リサイクル発電所 [※]	ごみ固形燃料の焼却熱を利用した発電	5~10名	約40分

※ 現在はリサイクル発電所の見学は中止されている。

出典：大牟田市エコサックセンター（<https://www.ecosanc.com/tour/>）

5. 現有施設の状況

大牟田エコタウン内に立地する大牟田市エコサルクセンター、大牟田市リサイクルプラザ、大牟田・荒尾RDFセンターの啓発施設の状況を以下に示す。

表 2 現有施設の状況（1）

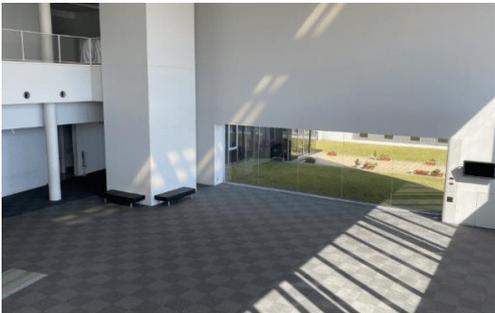
大牟田市エコサルクセンター	
	
常設展示	常設展示
	
再生工房	活動室
	
多目的ホール	研修ホール
	
会議室	ミーティングルーム

表 2 現有施設の状況（2）

大牟田市リサイクルプラザ



会議室



見学ルート



啓発コーナー



啓発コーナー（見学の様子）

表 2 現有施設の状況（3）

大牟田・荒尾RDFセンター



会議室



ごみクレーン実物展示

6. 他都市における啓発設備の事例

インターネット等により公表されている資料を基に、他都市における啓発施設における設備について事例を調査した。調査結果を資料編に示す。

7. 啓発機能導入の検討（案）

現状の両市における普及啓発状況や他事例調査結果を踏まえ、各啓発機能について導入可否を検討した。検討結果を**エラー! スイッチの指定が正しくありません。**(1)及び**エラー! スイッチの指定が正しくありません。**(2)に示す。

新ごみ処理施設においては、「ごみを燃やして処理するプロセス」と「脱炭素」をテーマとして紹介し、大牟田エコタウンの新たな5つ目の施設として相互連携する必要がある。

大牟田エコタウン内にある既存の啓発施設とバランスを図りつつ、新ごみ処理施設にふさわしい特徴的な内容の啓発を行うものとする。

表 3 啓発機能の導入の検討（1）

啓発機能	導入事例	写真	検討内容	導入可否
啓発用展示・オブジェなど	エコエイトやつしろ（八代市）	<p>■パネル展示</p>  <p>(http://www.city.yatsushiro.lg.jp/kiji00310191/index.html)</p>	<p>展示やオブジェは施設のイメージアップに効果的であるが、啓発手段としての費用対効果を考慮する必要がある。研修室でのビデオ上映等も活用した啓発活動を実施する。</p>	○
クイズ・ゲーム	人吉球磨クリーンプラザ（人吉球磨広域行政組合）	<p>■リサイクル学習コーナー</p>  <p>(https://www.hitoyoshikuma.com/cleanplaza/gakushu.html)</p>	<p>施設基本方針（環境学習をとおして、良好な自然環境を次世代へ継承する施設。）と合致する。</p>	○
体験学習室	宮ノ陣クリーンセンター（久留米市）	<p>■工作ルーム</p>  <p>(http://www.kurume-ht.com/guide.html#group=group38&photo=5)</p>	<p>せっけん作りや料理教室を行うための調理器具や作業台、シンク等を備えた体験学習室の事例があるが、使用用途が限定される。大牟田市エコサンクセンターの再生工房と活動室（調理室）を利用する。</p>	×

表 3 啓発機能の導入の検討 (2)

啓発機能	導入事例	写真	検討内容	導入可否
資料コーナー	佐賀市エコプラザ (佐賀市)	<p>■学習スペース</p>  <p>(https://www.saga-ecoplaza.jp/about/gakushu_zone)</p>	大牟田市エコサクセンター内の資料コーナーを利用する。	△
研修室・会議室	西部環境工場 (熊本市)	<p>■大会議室</p>  <p>(https://www.city.kumamoto.jp/common/UploadFileDsp.aspx?c_id=5&id=731&sub_id=50&flid=274068)</p>	施設見学対応（説明、ビデオ上映等）に活用する。利用者数によって室内を仕切ることができる造りとし、災害時の緊急避難場所等、多目的に使用できるよう配慮する。	○
コミュニティスペース	菊池環境工場クリーンの森合志 (合志市)	<p>■展示学習コーナー</p>  <p>(http://www.kikunanseisou.or.jp/sisetu-koushi.html)</p>	普段は、来場者の交流を目的としたオープンスペースとして利用するが、災害時には緊急避難場所等、多目的に使用できるよう配慮する。	○